

『通いの場』通信

Vol.17

令和2年5月20日発行

特集

「コロナ自粛で集えない・・・」

コロナを広げず、ココロを広げる方法を考える

新型コロナウイルスの影響により、私たちのまちでも、日々の暮らしに様々な変化が起こっています。自粛生活が続くことで、閉じこもりがちになったり、体力や気力が低下したり、日々の何気ない交流から得ていた暮らしの情報が不足するなど、自粛や集えないがゆえの暮らしの不安が見え始めています。

今回の『通いの場』通信は、そのようなコロナウイルス影響下でも、住民同士のつながりを切らぬよう、住民や企業・様々な関係機関とともに、それぞれの「今、できる」を集めて、「今、必要な」支え合いの取り組みを紹介する特大号となっています！

1 つながり・安心↑増すマスクプロジェクト(密集せずともサロンはできる)

一ひと針ごとに思いを込めて君をおもうー

4つの活動を通して地域に思いのこもったマスクを届ける活動です。

1. 提供する！

2. つくる！

3. 託す！

4. 見守る・届ける！

「いつものサロンはできないけれど、ちょっと少人数でマスクをつくってみようかな？」

「手づくりマスクをしばらく会っていないサロンメンバーに届けてみたい！」

「たくさんマスクができれば、このマスクを地域の支援者に託したい！」

そんな、マスクプロジェクトに皆さんのサロンで取り組んでみませんか？

マスクづくりに
必要な材料を
ご提供します！

つながり・安心↑増すマスクプロジェクト イメージ



次のページからは地域ですでに取り組んでいる活動事例等をご紹介します！

つながりを切らない 事例を紹介

4 オンラインサロン (サロン活動の秘密兵器) ーパソコンやスマホを使ってサロン革命！ー

スマートフォンやパソコンが使えるなら、もっともっと交流の幅が広がります。

自粛生活が続くなか、LINEやZOOM（ズーム）等の勉強をして、オンラインサロンを開催されたグループもあるそうです。

やり方さえわかれば、いつでも、どんな時でも大好きな顔と声に出会えるこの新しい交流のかたち。ぜひとも検討してみませんか？

「オンラインサロンの勉強会をしたい」というご相談もお受けします。



やってみると意外と簡単。スマホで人と情報がつながります。



パソコンを使ったZOOM（ズーム）でのおしゃべりのイメージです。画面には馴染みの顔が揃います。

5 通いの場ガイドブック第二版「毎日がかようび」 ー市内の様々な交流の事例や情報が満載ー (密着取材いたしました)



3月に完成した、「通いの場ガイドブック第二版『毎日がかようび（通う日）』」には、倉敷市内で様々な工夫で活動しているサロン情報を多数掲載しています。

他の地区のサロンの開催状況や取組の工夫についても情報提供いたします。

地区	施設名	活動内容	開催日時	開催回数	参加費	備考
倉敷	ふれあいファーム 水車の家	読書会	毎月 第1・3・5日曜日	13:00~15:00 21~22	無料	地域の入居希望者
中津江	ひまわり会	観音台自治会館	毎月 第1・3・5日曜日	13:00~16:00 10	毎月500円	観音台町内の女性
五日市	いきいきサロン アラカルト	豊洲塾の家	毎月 第1・3・5日曜日	13:00~16:00 10	誰でも参加可能	月会費500円
五日市	定経倶楽部	豊洲塾の家	毎週土曜日	13:00~16:00 8	誰でも参加可能	無料
西田	ふれあいサロン 手まりの会	豊洲中央塾の家	毎月 第1・3・5日曜日	10:00~12:00 25	高齢者	毎回100円 内容によって異なる
下庄	健康体操火曜サロン	下庄公民館	毎月 第1・3・5日曜日	10:00~12:00 12~13	町内の方	無料

「今回の通信」で紹介した取り組みを「やってみたい」「詳しく知りたい」方は生活支援コーディネーターまでぜひお問合せください！



倉敷市社会福祉協議会
地域福祉課
☎086-434-3301

生活支援コーディネーター
左から松本・山本・松岡・水野・阪本